

## 日本初、24 時間対応「遠隔手話通訳」

### 1 週間トライアル実証実験 開始

特定非営利活動法人シュアールはこの度、慶應義塾大学飯盛義徳研究室と共同で、UQ コミュニケーションズ株式会社、日本電気株式会社(NEC)より技術協力を頂き、2011年2月17日13:00より2月24日13:00までの1週間、ビデオチャット(Skype)を利用した遠隔手話通訳の24時間対応実証実験を実施致します。

遠隔手話通訳とは、テレビ電話の要領で聴覚障がい者に手話の通訳を提供するものです。店舗や窓口に常設する「設置型」の実証実験は既に開始しており、実用化に向けて実証実験が進んでおります。そこで、今回の1週間24時間実証実験では、従来の設置型だけでなく、UQWiMAXを活用して聴覚障がい者自身がノート型パソコンを持ち歩き、通訳を利用する「携帯型」を導入しました。また、一部の設置場所では、藤沢市が独立行政法人情報通信研究機構(NICT)と進めているコグニティブ無線システムも使用しています。

今回の実証実験では、将来的に、“手話通訳を24時間365日提供する”というシュアールのビジョンを反映し、24時間対応を行います。110番や119番通報のような、何かトラブルが起こった際など、緊急かつ短時間の場面において手話通訳を利用出来るサービスを創りたいと考えております。

#### ■実証実験概要

日時：2011年2月17日13:00より2011年2月24日13:00まで

通訳センター：シュアール本社。慶應藤沢イノベーションビルレッジ(SFC-IV、神奈川県藤沢市遠藤)

内容：利用者は時・場所を問わずビデオチャットを通して、通訳センターに遠隔手話通訳を依頼できます。

通訳者は通訳センターから遠隔で、夜間を含む24時間、手話通訳を提供します。

#### <携帯型>

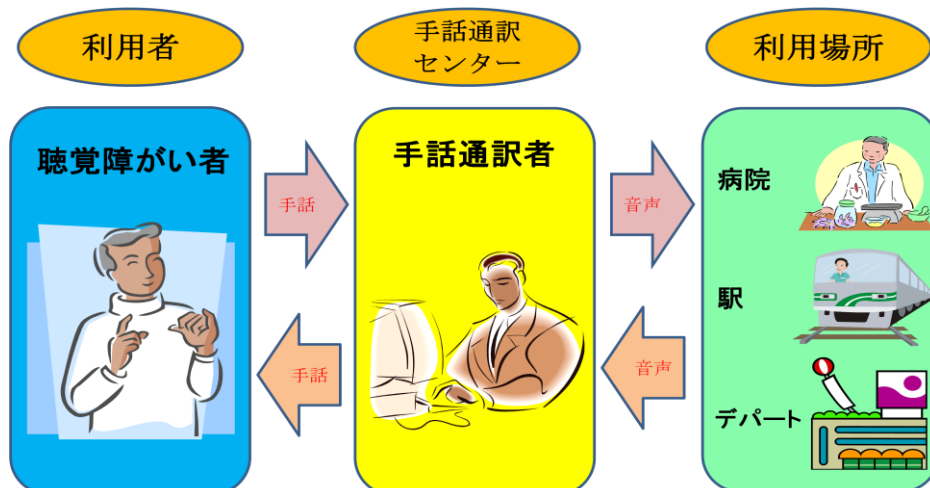
聴覚障がい者(利用者)にノート型パソコンとUQWiMAX端末を貸し出し、携帯して頂きます。

#### <設置型>

飲食店等の窓口にパソコンを設置し、手話通訳が必要な顧客が来た際に、通訳をを要求して頂きます。

対象：UQWiMAX端末とNECのパソコンを貸し出す聴覚障がい者モニター、協力店舗

#### ■遠隔手話通訳利用イメージ図

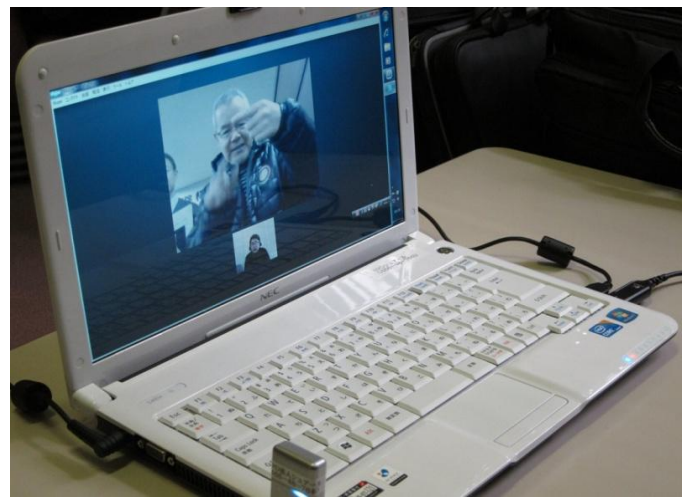


## ■遠隔手話通訳実証実験の様子

＜藤沢市役所での遠隔手話通訳実証実験 2011年2月2日＞



**写真(1)：市職員が書類の書き方を説明している様子**  
対応している市職員は、手話がわからないのですが、パソコンを通して、離れた場所にいる手話通訳者に音声で伝え、手話通訳者が内容を手話に変えることで、パソコンを通して、聴覚障がい者とコミュニケーションをとっています。



**写真(2)：実際の使用画面(手話通訳者側)**  
聴覚障がい者が手話をしている様子がメインの画面に映るので、その手話を読みとり、通訳を行います。また、通訳者が行っている手話は、下の小さな画像で、確認出来るので、自分の手話がどのように聴覚障がい者に伝わっているのか確認が出来ます。

## ■実験協力団体・企業（敬称略）

## (1)共同企画

- ・ 特定非営利活動法人シュアール
- ・ 慶應義塾大学飯盛義徳研究室

## (2)技術、機材の提供

- ・ UQ コミュニケーションズ株式会社
- ・ 日本電気株式会社(NEC)

## (3)支援

- ・ 藤沢市
- ・ 財団法人藤沢市産業振興財団
- ・ 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・ 慶應 SFC イノベーション &アントレプレナーシップ・プラットフォーム研究コンソーシアム (KIEP)
- ・ 公益財団法人起業家支援財団
- ・ 特定非営利活動法人エティック (ETIC)

**このプレスリリースに関するお問い合わせ先**

特定非営利活動法人シュアール

住所：〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 慶應藤沢イノベーションビレッジ

電話・FAX：0466-48-7640（KIEP 事務局内） E-mail：1w24h@shur.jp